

令和6（2024）年1月1日

## 元旦新聞メッセージ広告「一人で考えてたら 誰かにつながった。」について

「地域共創」という言葉があります。地域に暮らす多様な主体が、多様な協働・連携を通じて、様々な場面で直面する課題の解決を図るだけでなく、新しい価値の創造につながる地域づくりに資する取組を、包括的に意味する言葉です。



広告のデザインは、ひとりの生徒が自分の興味関心に従って絵を描きはじめ、悩みながらも様々な人とかかわり、つながり、絵を完成させていく。そんな身近な共創ストーリーをマンガで表現しています。描いたのは金城大学短期大学部美術学科の新井浩教授です。

広告の言葉は以下のとおりです。「一人で考えてたら 誰かにつながった。」これが私たちのまなざしです。

真っ白なキャンパスに絵の具をおく、その一筆目のなんとも心地良い緊張感が好き。  
はじめのイメージは、手を入れるに従って混沌としてくる。  
どこに行きたいんだっけ。何か違うけど何が違うか分からない。  
それでも格闘していると、ピタッとはまる瞬間がやってくる。  
さっきまで濁って見えていた画面が、今おいた色と響き合う。

お調子者もいれば、真面目もいるし、人の気持ちが分かる子、自己主張が強い子。  
それぞれ好みも性格も違う私たち。  
あるとき一人で考えていたら隣の子が話しかけてきて、結構盛り上がった。

思い切って関わってみる。今度は、自分から誘ってみる。

「地域連携」から「地域共創」へ。

声をかけられるのを待っているのではなく、自分事として踏み出す。  
私たち金城学園もそうありたいと考えます。本年もよろしくお願いいたします。